

静岡市井川地区自主運行バス事業説明会の概要

日時：平成20年2月29日(金)

場所：静岡市役所井川支所

1 意見交換

- 【参加者】 この計画はとてもいいと思う。
バス利用者は高齢者が多いので、乗りやすさに不安を感じる。
診療所まで行くなら、もっと本村の中まで入ってもらえないか。
- 【交通政策】 車両は、ワンボックス型であるが、乗降口からステップが出るようになっている。
また、ドアも自動ドアタイプであるため普通よりは乗りやすいと思う。
運行時間の関係で、井川本村の中まで入っていくのは難しい。
運行が始まったら、地区の皆さんと一緒に（仮称）利用促進協議会のようなものを作り、バス停、ダイヤを含めた運行のあり方を検討する場を設けたいと考えている。
- 【参加者】 横沢での乗り継ぎの時の待合室の設置を考えているか。
- 【交通政策】 現在は考えていない。
今回は、バスの中で待ってもらうような形で対応したい。
今後、様子を見て検討することになると思う。
- 【参加者】 今までのバスの料金と変わっているが。
- 【交通政策】 料金はジャストラインの運賃を参考にして設定している。
井川地区内は、200円にしてある。
- 【参加者】 横沢のバス停の位置を、避難所の所にしてもらいたい。
- 【交通政策】 安倍線の横沢のバス停との乗り換え関係もあるため、しずてつジャストラインと協議する。
- 【参加者】 井川地区の住民以外でも利用は可能か。
- 【交通政策】 可能である。
- 【参加者】 大井川鉄道で、井川駅からのアクセスとして積極的に案内してもよいか。
- 【交通政策】 乗車定員が、9人乗りであることをきちんと明示してほしい。
通常の利用では、十分に対応ができる計画だが、大鉄からの臨時的な観光客は想定していない。
- 【参加者】 井川駅から、白樺荘への客が9人いると、井川地区内では誰も乗れなくなる可能性もある。
- 【交通政策】 これまでの利用実態からみると問題はないと思われる。
ただ、ジャストラインもトップシーズンに貸切観光バスを走らせるので、1年間様子を見てから検討したい。
- 【参加者】 井川大橋のバス停利用者は、上坂本の人たちであるが、1kmくらい歩かなければならない。
今後こうしたことについても課題として考えていただきたい。
- 【交通政策】 先程の、（仮称）利用促進協議会中で検討していきたいと考えている。
- 【参加者】 乗る時は予約が必要か。
- 【交通政策】 予約は必要ない。
- 【参加者】 新静岡～横沢の間はこれまで通り各バス停で停まってもらえるのか？
- 【交通政策】 横沢から下については、路線バス「安倍線」がこれまでどおり運行される。
- 【参加者】 運行の休止はどう決めるのか。
雪が降るとすぐ休止か。
- 【交通政策】 物理的に事故のおそれがある場合には中止することになると思う。
その場合、運行者は支所や交通政策課と相談した上で判断することになる。
- 【参加者】 運行中止の連絡の周知はどうするのか。

【交通政策】 管理事務所に問い合わせもらうことになるので、判断して問い合わせてもらいたい。

【交通政策】 今回はこの計画で平成20年6月から運行していきたいと思うので、よろしく願いしたい。

以上